

| | | | |
|-------------------------|--|---------|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 心理学を活かしたキャリアデザイン (2単位) | 3. 科目番号 | PSMP1101 |
| 2. 授業担当教員 | アカデミック・アドバイザー | | |
| 4. 授業形態 | 講義、ディスカッション | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 特になし。 | | |
| 7. 講義概要 | <p>心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。</p> <p>本科目では、改めて心理学部に入学したことを踏まえて、心理学を学ぶことの意義を考えながら、心理学を活かした職業やキャリアの多様性を学び、社会人として踏み出すための自己理解と、将来働く場についての理解を促す。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教養としての心理学の汎用性について理解できるようになる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分はなぜ大学進学をしたか、なぜ心理学を選んだのか、なぜ東京福祉大学を選んだのか 2. どのような仕事に就きたいのか。そのためにはどういう学生生活を送れば良いか 3. 受けた影響を踏まえて自分の価値観を見直して どのように生きていきたいか 4. 自分の性格や価値観を踏まえた上で、どのような職業選択をしていきたいのか 5. 心理学を活かす職業、あるいは一般企業でどのように心理学をいかせるのか 6. 心理学を活かして、どのような人生設計をしたいか | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 指定しない</p> <p>【参考書】 (本学) 2024年度 履修要項</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の3点について、理解を深めたかどうかを評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学問として心理学を学習するだけでなく、日常生活や就職にどのように生かせるのか考えることができる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 <p>○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢40%、試験及び課題レポート60%で判断する。</p> | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <ol style="list-style-type: none"> 1. 理想とする将来の自分を実現するためにどのような仕事・職業や働き方が相応しいかを考え、目標設定を行い、実現に向けて設計していただきます。そのためにも、積極的に質問をしてください。また、授業での様々な課題やグループワーク、発表に積極的に取り組んでください。 2. 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしてください。 2. 特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 3. 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初日の授業に出席してください。 4. 受講生の理解度や要望によりシラバス内容を調整する場合があります。 | | |
| 13. オフィスアワー | 初回の授業で周知します | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション (諸注意・評価方法などの説明) (大学卒業後のキャリアについて) | 事前学習 | 本学の履修要綱およびシラバスを熟読しておく。心理学知識の重要性について考えておく。 |
| | | 事後学習 | 大学時代に身に付けておきたいことは何か？卒業後に必要となる能力・技術について深く考える。 |
| 第2回 | キャリア、デザイン、キャリアデザインとは？ (その意味と意義について) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | キャリア教育とは何か、キャリア教育を行う意味について理解しておく。 |
| | | 事後学習 | 大学生活におけるキャリアデザインの重要性について深く考える。 |
| 第3回 | 大学時代に何をすべきか？ (すべきこと・やりたいこと) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | 大学生としてすべきこと・やりたいことを考えておく。 |
| | | 事後学習 | 自分にとって大学時代にすべきこと・やりたいことを深く考える。 |
| 第4回 | 有用な人材になるためには？ (必要な能力・技術について) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | 有用な人材として社会・職場で認められるには何が必要かを考える。 |
| | | 事後学習 | 有用な人材になるための必要な能力・技術についてまとめる。 |

| | | | |
|------|---|------|--|
| 第5回 | 勉強に身が入らないのはなぜか？ (その原因について) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | 学習におけるモチベーションを向上させる方法について考えておく。 |
| | | 事後学習 | 特に何となく心理学を専攻した人は、自分にとってどのような意義があるのかについて考える。 |
| 第6回 | 自分の強み・弱みを知る (自分の性格とは？) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | どのような性格がどのような職業に向いているのかを考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 自分の性格を理解しておく。 |
| 第7回 | 価値観を考えてみる (自分は何に価値を置いているか) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | 価値観が職業選択にどのように影響するのかを考えておく。 |
| | | 事後学習 | 自分が持っている価値観を理解する。 |
| 第8回 | 価値観を考えてみる (心理検査の体験) | 事前学習 | 心理検査を体験する予定なので、事前学習の必要はない。 |
| | | 事後学習 | 自分の性格、職業適性、仕事を選ぶ時の価値観の3つについてそれぞれを関連させながら、自己理解を深める。 |
| 第9回 | 心理学部生の就職先について (心理学を活かせる職業：一般企業) | 事前学習 | 心理学を勉強することで活かせることについて考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 一般企業で役に立つ心理学について理解を深める。「何を」「いつ」準備するのかを考える。 |
| 第10回 | 心理学部生の就職先について (心理学を活かせる職業：公務員) | 事前学習 | 心理学を勉強することで活かせる公務員職を考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 福祉職・心理職について理解を深める。「何を」「いつ」準備するのかを考える。 |
| 第11回 | 大学時代に様々な経験を積む重要性 (教養教育の意義・学外活動の大切さ) (グループディスカッション・発表) | 事前学習 | 取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。 |
| | | 事後学習 | 学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。 |
| 第12回 | リサーチ研究発表① 準備 (心理学領域と職種) | 事前学習 | 何を調べるのか、内容を検討しておく |
| | | 事後学習 | グループ発表の内容をまとめる。 |
| 第13回 | リサーチ研究発表② 発表 (心理学領域と職種) | 事前学習 | 発表準備。 |
| | | 事後学習 | 他のグループ発表の内容をまとめる。 |
| 第14回 | リサーチ研究発表③ 発表 (心理学領域と職種) | 事前学習 | 発表準備 |
| | | 事後学習 | 他のグループ発表の内容をまとめる。 |
| 第15回 | ーまとめー 14回の授業を通して、これから将来に向かってどのような大学生活を送っていききたいのかについて考える | 事前学習 | これまで学習した内容を振り返り、どのように大学生を送っていくかについて考える。 |
| | | 事後学習 | これまでの授業を他の人たちはどのようにとらえているのかを参考にしながら、あらためて自分の大学生活をどうするのかについて考究する。 |